

かとう ゆりえ
加藤 友里恵
元トライアスロン日本代表



生年月日:1987年 1月27日

出身地:千葉県

出身校:銚子西高等学校→城西国際大学

サイズ:身長 161cm / 血液型 O型



【トライアスロン 主な経歴】

- 2011年 レディー 스트ライアスロン in 昭和記念公園 優勝〈トライアスロンデビュー戦〉
- 2013年 ITU トライアスロンアジアカップ (天草) 3位
- 2013年 ITU トライアスロンアジアカップ (ランタオ) 優勝
- 2013年 日本トライアスロン選手権大会 4位
- 2014年 ITU トライアスロンワールドカップ (嘉峪関) 2位
- 2014年 アジアビーチゲームズ デュアスロン競技 優勝
- 2015年 ITU トライアスロンアジアカップ (蒲郡) 優勝
- 2016年 ITU 世界トライアスロンシリーズ (ケープタウン) 8位
- 2016年 ASTC アジアトライアスロン選手権 (廿日市) 2位
- 2016年 第31回オリンピック競技大会 (リオデジャネイロ) 46位
- 2016年 第71回国民体育大会 希望郷いわて国体 2位
- 2017年 NTT ASTC トライアスロンアジアカップ (大阪城) 2位
- 2017年 NTT ASTC トライアスロンアジアカップ (村上) 優勝
- 2020年 第26回日本トライアスロン選手権をもって引退

【プロフィール】

3歳から水泳を始め、小学校5年生の時にJOCジュニアオリンピックに出場。小学校6年生の時に、運命の出会いが訪れる。参加したマラソン大会で当時稲毛インター所属の日本トップアスリート庭田清美に出会いトライアスロンへの思いが芽生える。その時から「トライアスロンをやる」と決めていた。そして、将来は「トライアスロンでオリンピックに出る」という夢を持った。しかし、中学からは本格的に取り組んだ中長距離に魅せられ高校～大学～実業団と走り続ける。こうして23歳までは「トライアスロン」の扉を叩く事はなかった。

2010年、実業団1年目の冬に故障をした事がきっかけで陸上に別れを告げ、トライアスロンへチャレンジする決意を固める。小学生の時に思い描いた「いつか」がやってきた。

2010年10月にトライアスロン名門チーム 稲毛インターに入門。2011年7月、トライアスロンデビュー。

2012年のロンドンオリンピックに感銘を受け、2016年リオデジャネイロオリンピックを目標にトレーニングに励む日々を送った。リオデジャネイロオリンピック最終選考レース〈ITU世界トライアスロンシリーズ(ケープタウン)〉で選考基準であった8位入賞を果たし、リオデジャネイロオリンピックの日本代表になり、夢への切符を掴んだ。そして2018年3月からトライアスロンを学んだ稲毛インターを卒業し、2020年東京オリンピックに向け更なる高みを目指し挑戦する。夢は《オリンピック出場》から《オリンピックでメダル獲得》に変わる。

2020年11月 JTU日本トライアスロン選手権をもって引退。現在は人と人と、人と企業、人と自治体を繋げ、トライアスロンを通して様々な活動をしている。

株式会社 デュアリズム

〒181-0002 東京都三鷹市牟礼2-3-4

090-2645-4488 西山